

2025年度 関係者評価委員会 議事録

2026年 3月25日(水) 13時15分実施

出席者 園長 園主任 PTA4役(4名) 学校医 ルーテル教会役員代表(2名) 以上9名

園長より

* 参加のお礼、これまでの活動へのご理解、ご協力に対する感謝

1. 1年の振り返りとめぐみ幼稚園の教育方針、今後の課題等について
・教職員の懸命な取り組み、誠実さ、子どもに向き合う姿勢のすばらしさ
(後の自己評価にも通じるもの)
2. 評価の項目ごとに、その分析と今後の対応などについて、全体にお伝えした。

全体で出た感想、意見など

- ・めぐみ幼稚園でこそ感じるこのできること、体験できることを大切にしてほしい。
- ・キリスト教精神に基づく教育を大切にしていることが分かる。
- ・今後も、持続可能なものを続けていってほしい。
- ・少子化の中、園児の少なさは逆に先生方が手厚く保育できるメリットも出てくると思う。
- ・2歳児保育は、費用も安く良いとの反応ある。
- ・保育園と比べて、幼稚園は荷物が多いのでは。お弁当の時などはさらに増える。コップも2個は持参必要であろうか。
- ・給食回数が増え、弁当の日が減ったのは良いことと思う。
- ・めぐみはSNSないので、情報は主に口コミで広がる傾向がある。そうした中で、「荷物が多いよ〜、用意するものが多いよ〜」などが広がっていくようだ。
- ・担任の発表は4月まで伏せておく必要はあるのか。親も含め、子どもたちのドキドキは減らせないか、なくせないものであろうか。

・「コドモン」はとても便利なシステムと思う。こうしたツールは小学校では、すでに当たり前のものとなっている。（導入されている）。連絡の機能、バスの位置情報など、また、親が複数で同時に見ることが出来るなど、役立っている。

・先生方のスマホで撮られている、写真、日常生活のものを、アップしていただけないか。子どもの日常がよくわかるので。

・ブログなどは廃止して、コドモンに1本化していくので良いと思う。

・園長タイムがなくなるのが残念。深川市のALTなどの活用はできないか。

→・園のイベントなどが、今後も英語を使うものでできたらいい。

→・ボランティアできてくれる人など、人材の活用も今後考えていく。

・幼稚園には年に2～3回しか来ることはできないが、キリスト教教育の精神がチャプレンを通して良く伝えられていると思う。神様に、一人一人が愛されていることを知り、そこから生まれる優しさ、思いやりの心は、成長して大きくなった時にもきっと残っていくものと思う。

・みなと一緒に行動のできない子ども、特別な配慮が必要な子どもに対してのサポートを先生方がしてくれている姿があり、素晴らしいと思う。がんばってください。

・卒園された方、その保護者の皆さんから、「めぐみ幼稚園はよかった」とのコメントを聞いている。私の子どもも、めぐみの1回生ですが、お世話になりました。大人になっても心に残るものがたくさんあればいいと思います。

以上